

高病原性鳥インフルエンザ発生リスクが高まりました

◆12月に入り、滋賀県、大阪府、兵庫県で相次ぎ死亡野鳥等から高病原性鳥インフルエンザ陽性事例が確認されています。

12月14日
兵庫県神戸市
モモアカノスリ※

12月12日
滋賀県米原市
カモ類ふん便

※大阪市内で
ハシブトガラス
の追い払い作業
の後に死亡

12月13日
大阪府大阪市
ハシブトガラス

◆近畿地域で発生リスクが非常に高まっています。家きん飼養者自らが意識を高く持ち、以下①～④の徹底をお願いします。

- ①高病原性鳥インフルエンザウイルスの人による持ち込みを防ぐために裏口も含めた全ての出入口で家きん舎に入る前の長靴交換、衛生管理区域専用の衣服及び靴を着用、手指の消毒を行う
- ②少なくとも1日1回の消毒槽の消毒液の交換を含む日頃の消毒
- ③隙間が無いように思われる家きん舎であっても、養鶏農場等の飼養衛生管理に関して家畜保健衛生所と連携し、客観的に再度確認して野生動物の家きん舎への侵入防止対策を継続的に行う
- ④夜間も含め猫やイタチ等の小動物、カラス等の野鳥を誘引させないように死亡家きん、廃棄卵・飼料及び排せつ物を適切に処理する